

医療・健康増進対策スマート化

健康でアグレッシブな高齢者を増やす

健康が生活の質を維持しQOL向上（熱中生徒も増）

医学を基礎とするまちづくり
「Medicine-Based Town」
Continuing Care Retirement Community for JAPAN
住民が安心を得られる街づくり、つながっている安心感の提供
奈良医大MBT研究所



20代にも負けない！介護の軽減



遠隔医療で通院負担をなくす



タブレット訪問診療と診療記録シェア

さらべつ版：遠隔バイタル測定、遠隔医療、訪問医療・歯科
規制：医師法第20条、無診察診療の禁止

医療・健康増進のスマート化におけるデータ連携

地域の課題

- 病院・診療所に通院するための交通手段がない
- 帯広市内の総合病院は受付・待合時間が長く、診察時間が短い

住民が思う課題

- 運転免許・車がないと通院が不便
- 健康で長生きしたい
- 医療費が高い
- 食事を作るのが面倒
- 一人暮らしが不安

一人暮らしでも、認知症になっても、安心して暮らせる村づくりが必要。
過疎地でも、自宅でも最先端の医療を受けられる環境の整備
健康維持・セルフケアを基本に、必要な時に少ない負担で満足できる医療を提供

⇒ 「いつまでも健康で」は不可能。必要時には町医者に掛かりやすく

